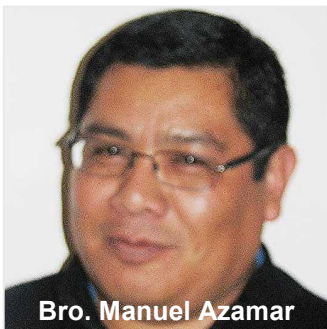


Via Latina 22



総本部よりのお知らせ - マリア会 メキシコ特別地区での終生誓願式

2016年3月
249号



Bro. Manuel Azamar

メキシコ特別地区はアメリカ管区の一部であり、この小聖堂はマリア会によって運営されており、小教区の一部になっています。

Quentin Hakenewerth師が主司式司祭を勤めました。メキシコ特別地区の責任者であるRaymundo Dominguez師が説教を行いました。アメリカ管区長のMartin Solma師が、スペイン語で前もって質問をしたJohn Thompson師の助けで彼の誓願を受け入れました！

1月30日、Juan Manuel Azamar士の終生誓願式のために、約250名人々がメキシコケレタロにあるガダルーペの聖母”小聖堂に参集しました。



左→右: Fr. Marty Solma, Fr. John Thompson, Bro. Juan Manuel Azamar, Fr. Quentin Hakenewerth and Fr. Raymundo Domínguez González.

この誓願式の後、参列者の皆さんは音楽、食事、フォークダンスを楽しみました。Juan士の両親、親類の皆さん、そして友人たちはこの式に参列するため、彼の郷里ベラクルス州から16時間かけて来ました。

ブラザーJuan、おめでとう！

インドでの司祭叙階式



Newly ordained Fr. Rymond (後) with Bro. Dennis Schmitz (U.S.) and fellow Indian brothers.

Josephraj Rymond 士はインド、バンガロールでの叙階式で Josephraj 神父と成りました。2月3日、Bernard Moras 大司教が“御子イエス教会”で階式を執り行いました。

Rymond 神父、おめでとう！



Fr. Josephraj Rymond

スペイン管区長

マリア会総長Manuel Cortés師はスペイン管区の全兄弟に次のように書簡を送っています。“2016年2月15日、総長評議員会は、今日の会議において、満場一致でMiguel Ángel Cortés Soriano師を2016年9月12日から始まる第二期目3年間のスペイン管区の管区長として任命したことを皆さんに報告します。”

私たちは、彼が快諾してくれたこと、彼の信仰の精神、そしてマリア会への奉仕の精神に対して、Miguel Ángel師に感謝します。



ラテンアメリカ有期誓願者会議 (コロンビア)

ヒラルドー, 2016年2月4日

ラテンアメリカのマリア会修道生活にとって、いのちと希望のしるし

2月2日から19日まで、ラテンアメリカのマリア会有期誓願者たちの集いが、“旅する若者たち: 慈しみの証人”というテーマでコロンビアのボゴタで開催されました。ブラジル1名、チリ3名、コロンビア5名、ペルー4名、そしてメキシコ4名の合計17名の参加者たちは、南米における新しいマリアニスト世代の代表でした。

多様な文化を持つ豊かで真の兄弟愛が満ちた雰囲気の中で、この会議は、以前の修練院の仲間と再会し、学生修道士および有期誓願者としての生活体験を分かち合い、また、それぞれの行政単位においてマリアニストの生活を生きる他の可能性について一緒に夢見ることができる機会を与えてくれました。



左→右: 前列 - Carlos Espinoza (CH), Nereo Ramírez (US-Mex), Nelson Mendieta and Wilson Rentería (CE), Percy García (PE); 後列 - James Elie (CE), Luis A. Salazar and José Martín (PE), Francisco Muñoz (CH), Juan M. Azamar (US-Mex), Mauricio Salinas (CE), Julio César Mostacero (PE), Fr. Cecilio de Lora (CE), Juan P. Espinoza (US-Mex), Daniel Orellana (CH), Yarnirton Maturana and Fr. Carlos J. Barragán (CE), Victor F. de Aguiar (ES-Bra), Julio César Sánchez (CE) and Orlando de la Cruz (PE).

彼らは計画された研修と養成の活動を通して、また、“Ciudad Bolivar”（ボゴタの特に貧困で取り残された地域）における地理的にも実存的にも“極限の場所”に行くという体験を通して、私たちは、今日、特にラテンアメリカのあるがままの世界で、より忠実で幸せで豊かなマリアニスト修道生活に至るための生活と活動の基準を採択しました。マリアニストとして、私たち一人ひとりはいのちと希望のしるしであり、また、このような者として、生きて成長するように召されていることは明らかでした。そしてまた、利己主義、消費主義、貧弱な兄弟愛の生活、妥協主義等のとらわれからの解放は、私たちの生活が神を中心とする度合いに応じて、また、貧者、共同体の生活、戦争の犠牲者、地球の破壊など、世の中の生活において鳴り響いている生命の主である神の叫びに耳を傾けている度合いに応じてだけ可能となる、ということも明らかでした。

私たちの分かち合いの時から生まれた主要な成果は、この出会いから生まれた一致および使命の分かち合いに関する良い精神を消滅させないための委員会の設置でした。さらに、参加者たちは全ラテンアメリカにおけるマリアニスト生活を強化するためにCLAMAR会議に対して正式にいくつかの具体的な提言を行うという任務を持っています。

この新しい世代のエネルギーを通して、私たちが何時もマリアニスト奉獻生活において忠実で幸せで豊かであることができるよう、聖母マリアと創立者たちが私たちの全行政単位のため神の前でとりなしてくださいますように。

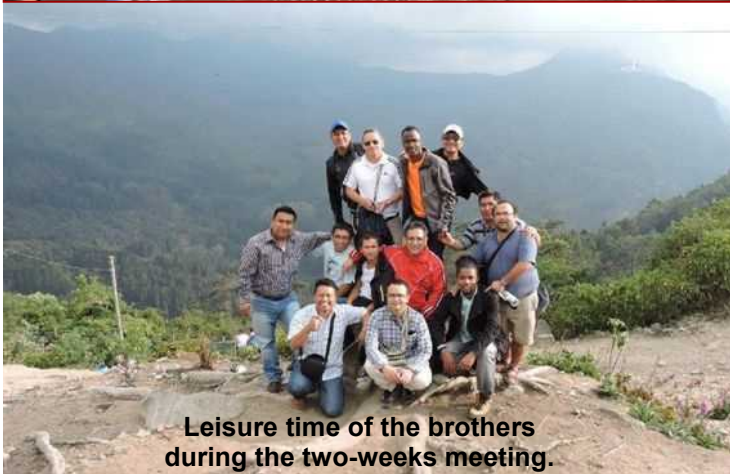
Nelson Mendieta, SM (コロンビア)



In front of Parish *Beato Chaminade*, in Bogotá.



Juan Pablo Espinoza (US-Mex) exchanges ideas with Fr. Cecilio de Lora (CE).



Leisure time of the brothers during the two-weeks meeting.



Informal time for the brothers.

奉献生活の年の締めくり



左→右: Fr. Francis Kim (KO), Giuseppe Salvatore (IT), Lambert Kouassi (IV), Denis Shamashanga (FR-CO), Jérôme Kanhou (IV), Innocent Chikwanda (EA), Alex Tuss (US), Peter Heiskell (ME) and Alphonse Edel (FR).

奉献生活の年の締めくり行事に参加したマリアニスト修道者

2016年1月28日～2月2日、奉献生活年にふさわしい締めくりとして、修道会・宣教会・在俗会省は“交わりの中にある奉献生活”という行事をローマで開催しました。5000名以上の参加者の中に次のマリア会員が含まれていました:

Innocent Chikwanda (東アフリカ)、
Lambert Kouassi, Jérôme Kanhou (コートジボワール)、
Denis Shamashanga (コンゴ)、
Alphonse Edel (フランス)、
Giuseppe Salvatore (イタリア)、
Francis Kim (韓国)、
Alex Tuss, David McGuigan (アメリカ)、
Roger Poletti, Peter Heiskell (メリバ)。

これらの会員たちはVia Latina 22の本部に丁重に迎えられ、彼らの滞在は霊生局長、André Fétis師によって親身に段取りされました。この集まりには奉献生活のあらゆる会、即ち、宣教会、修道会、隠修士、奉献された未婚婦人、在俗会、新形態の奉献生活、から代表者が派遣されていました。

このプログラムに先立ち奉献・使徒的生活会省の長官、João Braz de Aviz枢機卿が交わりの専門家である修道者としての私たちの召命を強調されました。講話、祈り、行事の日々を通して、このテーマは幾度も繰り返されました。2月1日の謁見の席で、教皇フランシスコは、修道者は先ず何よりも自分たちの共同体において自分たちの兄弟、姉妹と近い者とな

る必要があると言って、“親密さ”という言葉が強調されました。

奉献・使徒的生活会省の秘書、Marcello Carballo 司教は、空腹でお腹がゴロゴロ鳴っている仲間に気づいて、聖フランシスコがその仲間のところに行って、“私は空腹だ、何か食べ物を手に入れよう”と言った物語でこのことを説明しました。私たちは兄弟たちの苦しみに気づき、それを自分自身のものとして取り上げ、そして私たちと一緒に歩むようその人に呼びかけるために、聖フランシスコのように自分の兄弟たちと心を通わせる必要があります。

*Perfectae Caritatis*と*Vita Consecrata*を再読するようこの呼びかけが繰り返しなされましたが、それは奉獻生活についての教えが有する宝をより深く生き、より十全にその宝を用いるよう修道者たちを励ました。

このプログラムのいくつかの行事には4000名以上の参加者が集まりましたが、一方、他の行事は奉獻生活のタイプや言語グループに焦点を合わせていました。印象深い場面には次のようなものがありました：

- ① サン・ピエトロ大聖堂での開会の祈りの集いと閉会のミサ
- ② 教皇フランシスコとの謁見、
- ③ 私たちを高揚させる二つの*Lectio divina*のセッション、
- ④ サン・ジョバンニ・イン・ラテラノ大聖堂の聖なる扉を通る行列、
- ⑤ システイナ礼拝堂へのガイド付きツアー。



Innocent Chikwanda (EA)
reading at a celebration.



Jérôme Kanhou (IV) & Lambert Kouassi (IV)
at St. John Lateran
(as above).

に満ち、神の恵みに包まれていた’。どうかマリアの母としての執り成しにより、主イエスが私たちの中で成長し、出会いへの強い望み、驚く心を失くさないようにすること、そして感謝の喜びを一人ひとりの中に強めてくださいますように。そして他の人たちがキリストの光に魅了され、御父のいつくしみと出会うことができますように。”

マリア会の参加者たちにとって、食事の時、バスや電車で、また、この永遠の都ローマを歩き回りながら、他の行政単位の参加者や総本部のメンバー、および神学校共同体との国際的な一致の絆を強めるのに十分な機会となりました。

一人ひとりの参加者が間違いなく自分の召命について、特にマリアニストの共同体生活について確信を得たと同時に、私たち一人ひとりが同様に自分の奉獻においてより深く成長するようチャレンジを受けていると感たことも確かです。

教皇フランシスコは“奉獻の祝日”ミサで次のように述べられました：

“今日の福音は次の表現で締めくくられています：‘幼子はたくましく育ち、知恵



左→右: 後列 - Roger Poletti and Peter Heiskell (ME),
Jérôme Kanhou (IV), Denis Shamashanga (FR-CO) and
Fr. Francis Kim (KO); 前列 - Innocent Chikwanda (EA),
Fr. David McGuigan (US), Alex Tuss (US),
Lambert Kouassi (IV) and Alphonse Etel (FR).



JPIC—全共同体への注意事項！

私たちは皆さんに、各共同体が1～2回の共同体集会の中でJPIC問題について話し合う時間を持つようにとの前号での提案、を思い起こして欲しいと思います。現時点では、私たちは特に移住者と難民、すなわち、暴力、戦争、経済的苦境、あるいは他の深刻な理由で、安全でより良い生活を求めて自分の国を去らねばならない人々に焦点を当てています。

私たちのwebsite:www.marianist.org の特別なセクションには種々言語でかなりの量の情報がありますので、話し合いを活発にする助けになると思います。勿論、他にもインターネット上で利用できる他の資料もたくさんあります。もし皆さんがまだ話し合いをしていないなら、多分、次の集会でこの項目について話し合うよう計画できるでしょう。そして、もちろん、私たちは皆、これら状況とそこに生きる人たちのために繰り返し祈ることができます。次の号で、次の数ヶ月のために、新しい話題を皆さんに提示するつもりです。

新しい出版物の紹介

Daytonの北米マリアニスト研究センター(NACMS)は、最近、200ページにわたるDavid Fleming師の著書“*A New Fulcrum: Marianist Horizons Today*”を出版しました。この著書はマリアニスト生活における現在の諸問題、すなわち、リーダーシップのスタイル、混合構成、教育、宣教のアイデンティティ、マリアニストの祈り、マリアニスト家族の将来の発展など、についてのエッセー集です。この本はwebsite: NACMS.comで発注出来ます。

Fleming師はまた他のタイトルの著書、“*Rays of the One Truth: Themes of Intra-Religious Dialogue*”もインド、バンガロールのアジア通商会社を通して出版しました。これは183ページの本で、著者のインドでの対話や考察に関する経験を内容としており、キリスト教の霊的教義とインドの宗教、すなわち、仏教、イスラム教、特にヒンズー教との繋がりに焦点を当てたものです。この研究書はアジア通商会社のwebsite、あるいは著者を通して発注出来ます。

メールアドレス変更

- **Bro. Robert de Lussy (FR):**
lpr33@orange.fr
- **Bro. Howard Hughes (US):**
2hlitmus@gmail.com
- **Bro. José Khasa-Beya (FR):**
beyam_2009@yahoo.fr
- **P. Francisco J. del Barrio (ES-Bra):** pacosm2@yahoo.es

総本部日程

- **2月17日～3月9日:** 総長評議員会全員トーゴ地区訪問

総本部 最近の通信

- **訃報:** No. 1～6
- **2月1日:** SM3部門(no. 145) – MSFとMFFが総本部財務局長Michael McAward士から3ヶ国語にて全行政単位の責任者と財務部長宛て送付されました。
- **2月3日:** スペイン語での2016年発行教育事業年鑑についての情報要望書が教育局長Maximin Magnan士から南米の全教育部長に送付されました。

